



京機会ニュース

No. 25 平成21年(2009年)秋号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL & FAX: 075-753-5183 URL: <http://www.keikikai.jp/>
E-mail: jimukyoku@keikikai.jp

平成20年度卒業記念パーティ



平成21年3月23日午後には学生会員の皆さんの卒業記念パーティを開催しました。参加学生には中川哲京機会会長(平成20年度)よりお祝いの言葉と卒業記念品として京機会特製名刺入れが贈られました。

卒業生のみなさま、新社会人としての活躍に期待します。

芸術・文学・工学の秋

～京機会秋季大会へのお誘い～

京機会関係者の方々の中には芸術の分野で創作活動をされている会員が多数おられます。そこで、本年11月28日(土)の秋季大会の当日に、百周年時計台記念館1階京大サロンの東側壁面において、京機会関係者の絵画、書、写真などの作品を集めた **京機会絵画展「工学と芸術の交差点」**を企画させて頂きました。

講演会では、バイオエンジニアリングのさきがけとなる研究をされてきた**赤松映明氏**(S32)に人工心臓開発に関するご講演を、また、平安文学研究者の**山本淳子氏**の源氏物語を題材にしたご講演をお願いしております。

紅葉溢れる秋の京都を、本企画と共に是非ご堪能下さい。ご家族のご参加も歓迎いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。(案内P.3)



中尾美江氏(京機会事務局)の作品



坂口保彦氏(S54)の作品



京機会・海外へチャレンジ・脇坂基金スタート

この度、脇坂知行会員(S44、大阪市立大学教授)より、本会の学生会員をエンカレッジするための基金を創設したいというお申し出をいただき、600万円を寄付頂きました。本基金は、京機会学生会員が修士課程在学中に、国際会議等で初めて研究発表を行う際や国際的な技術コンペティション等に初めて出場・出品等を行う際に必要な旅費・参加費(登録費)を補助します。

学生会員のみなさま、先輩からの応援を活用して、海外へチャレンジして下さい。

2009年度は名簿発行年です!

～京機会会費の納入も併せてお願いいたします～



会員名簿の発行は、京機会の一つの大きな事業です。名簿は3年ごとに発行しており、来年1月の最新版発行に向けて現在準備を進めております。**今回のはがきでのデータ返信分が、2009年度版最新名簿に反映されます。各位におかれましては、最新データへの更新をお願いいたします。**

最新名簿は、平成19～21年の京機会会費を完納いただいた方に贈呈いたします。(詳細P.11)

次年度春季大会・総会のご案内

平成20年の関東支部、21年の中部支部に続き、**平成22年度は、中国四国支部主催により、ホテルグランヴィア岡山(岡山市)にて、4月17日(土)に開催いただきます。詳細は次号にてご案内いたします。**



会長メッセージ

世の中がバタバタし、大学の人間にも常に外部から見える形の短期の業績が求められ、研究成果をあまり賢くないマスコミにも受けるようにしなければ、兵糧責めに合うご時世になりました。学生の人間教育、先輩とのつながりの同窓会に、現役教員が参加しにくいこのような状況になって、すでに久しくなります。それでも同窓会を何とか大切にしなければもったいない。

このようなご時世の中で、京機会が大いなる社会性を持って発展できるよう、産業界で実績のあるOBの会長のご努力が続きました。そのお陰で、京機会はしっかりと組織化され、活動は大きな活性を得ることができました。

今般、会長をお引き受けした私は、ずっと大学にいた井の中の蛙。企業の経験がなく、京機会の経営も今までの諸先輩会長のようにうまくできないかも知れません。しかし、大学のより近くにいると言う利点を生かし、大学と卒業生との間の連携をより深め、卒業生が「京大の機械に学んで、本当に良かった」と思える手助けが出来ればと思います。

京大機械系教室は、最高の機械技術・知識の基盤であり、日本の機械技術を支える人材養成の場所であったし、これからもそうでなくてはなりません。その京大機械系教室の現役を支えるOB組織としての京機

会、社会人となってからの活動を支えるネットワークとしての京機会、学生に社会の現実を教え社会と結びつける仲介人としての京機会、でありたく思います。京機会のOBほど京大機械系教室を愛している人達はありません。現役とOBの連携がうまく機能するためには、「人の絆」が必要です。

このクソ忙しい昨今、同窓会活動は時間の無駄だ、と考えることも多々あるかと思えます。しかし、目先の利や効率のみにしか価値を見いだせないのは、本当に大切なものに気を付けさせず、結果として、長い間には大きな物を失ってしまう恐れがあります。

一見、無駄と思えるような、お喋りをし、一緒に遊んで過ごす時間が「人の絆」をつくり、大切なものに気を付けさせてくれる大きな機会です。利だけで結びついている関係ではない学年同窓会。それらが縦に繋がる組織としての京機会。同じ教室に学んだという、お互いを理解し易くする学生時代のバックグラウンドがもたらす話のし易さ。これらは得難い人的ネットワークであり、これはすなわち情報ネットワークです。

そのような場所が京機会でありたく思っています。

京機会 会長 久保 愛三(S41)



学年評議員各位へ

京機会の目的は会員の親睦と発展で、その原点は各卒業年度の同窓会活動にあります。

学年同窓会の積極的な開催をお願いするため、少し形骸化の傾向も見られた評議員制度を、近年、学年評議員制度に改めました。

京機会本部と致しましても学年同窓会の積極的開催のお手伝いをするため、今年も秋の京機会総会当日の10時頃から14時頃まで物理系校舎の会議室を、ご希望の学年に同窓会会場としてお使い頂くことが出来るよう、準備いたします。



懐かしい母校の校舎で同窓会を開いて旧交を温め合い、また同日、学生が社会における現実を知るための教育活動の一つとして百周年記念館で開催致しております「学生と先輩との交流会」の会場をぶらついて学生や企業の京機会会員との交流を深めて頂き、14時30分からは京機会秋の大会の講演会を聞き、二次会というプランは如何でしょうか。

～ 学年同窓会開催のススメ ～

学年評議員におかれましては、是非ともご一考頂き、同窓会開催予約のご連絡を

jimukyoku@keikikai.jp、(Tel. 075-753-5183)

まで頂きますよう、お願い申し上げます。

運営委員会委員長 松久 寛(S45)
京機会代表幹事 吉田英生(S53)

評議員会のお知らせ

評議員各位には、今後の京機会活動についてのご審議・ご意見をいただきたく、是非ともご出席の程よろしくお願い申し上げます。

日時：平成21年11月28日(土)

12:00～14:00

**会場：京都大学工学部物理系校舎
101室**

● 議員会は京機会幹事会との合同会議とさせていただきます。

平成21年度京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催致しますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成21年11月28日(土) 14:30～
会場：京都大学時計台百周年記念館 百周年記念ホール 他
行事：



1. 講演会 14:30～15:30

「磁気浮上遠心人工心臓ポンプの開発を振り返って」

赤松 映明 氏 (S31卒、京都大学名誉教授)

臓器移植法が成立したとは云え、世界的にも移植生体心臓の絶対的不足から恒久使用の人工心臓が希求されている。今から20年前、京都大学在任中に手がけた世界初の磁気浮上遠心血液ポンプは人工心臓としてテルモ(株)によって製品化され、既に欧州では認可されて約百人の患者に埋め込まれている。国内でも臨床試験を終え、国の認可を待っているところである。そこでこの人工心臓開発の経緯を、世界の難勢と併せて、述べさせていただく。また、医工連携、産官学協同さらに京機会との関連についても云及する。



2. 講演会 15:40～17:10

「光源氏のスパルタ教育」

山本 淳子 氏 (京都大学文学部卒、京都学園大学教授・平安文学研究者)

平成19年「源氏物語の時代-一条天皇と后たちのものがたり-」(朝日新聞社)により、サントリー学芸賞(芸術・文学部門)受賞。

光源氏は、恋ばかりしていた訳ではありません。彼は親として長男にスパルタ教育を施していたのです。子育てに奮闘する彼の前には、世襲・格差社会など現代にも通じる問題がありました。どうぞ光源氏と共にお考えください。



3. 総会 17:20～17:50

4. 懇親会 18:00～20:00

会場：京都大学時計台百周年記念館、国際交流ホール

会費：3,000円 学生1,000円 ご家族1,000円 (当日会場でお支払い下さい)

- ご自由な服装でお越しください。
- 講演会・総会は無料でご参加いただけます。 ●ご家族のご参加も歓迎いたします。
- ご回答は、11月16日(月)までに、同封のはがきでお寄せ下さい。

京機会ホームページ(<http://www.keikikai.jp/>)からも、受付できます。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は「はがき」か「HP受付」のどちらか一方でお願いします。

京機会・京機学生会SMILE 学生と先輩との交流会のお知らせ

日時：平成21年11月28日(土)
10:45～15:00

会場：京都大学時計台百周年記念館
国際交流ホール

- 参加学生にはSMILE製作の特製企業ブックを贈呈!
- 本年度は9月7日付で京機会員在籍企業約250社宛に案内発送し、先着順にて参加企業を決定いたしました。上記登録済250社以外で次年度に案内送付を希望される企業は京機会迄ご連絡下さい。



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、平成11年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会の仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評いただいております。



平成21年度京機会春季大会・総会のご報告



今回は、前回の関東支部主催に続き、2回目の支部(中部支部)主催で、総会192名、懇親会178名と、多くの会員とそのご家族の方に参加いただき、極めて盛況な総会となりました。

- 特別企画 -

総会に先立って、特別企画(家族参加型)が催された。A. トヨタ博物館見学ツアー、B. ミッドランドスクエア展望・近傍散策、C. 産業技術記念館見学と「i-REAL」体験試乗の3プランを用意していただき、会員の希望によりそれぞれの企画に分かれ、楽しんだ。



- 総会 -

産業技術記念館大ホールにて、14時45分から総会が始まり、吉田代表幹事(S53)の司会のもと、中川哲会長(S38)の挨拶、吉田代表幹事(S53)による平成20年度活動報告、星出会計担当幹事(S52)(吉田代表幹事(S53)代読)による平成20年度決算報告・監査報告と承認、および平成21年度予算報告があった。



次に、関西支部(川辺支部長(S40))、関東支部(若園支部長(S42))、中部支部(中西支部長(S43))、中国四国支部(薦田支部長(S45))、九州支部(松久支部長代理(S45))の活動報告があった。続いて、吉田代表幹事(S53)より役員改選の提案があり、承認された。最後に、久保新会長(S41)より、会長就任の挨拶があった。

- 技術講演会 -

「小惑星探査機「はやぶさ」が挑んだ苦難と対応と将来の太陽系探査について」 宇宙航空研究開発機構 川口 淳一郎氏 (S53)

小惑星探査機「はやぶさ」の計画および近況について説明があった。「はやぶさ」は、平成17年5月に打ち上げられ、小惑星「イトカワ」の近傍観測を終え、平成17年11月に、世界で



初めて着陸した。着陸時、トラブルが発生し、消息が不明となっていたが、その後「はやぶさ」からのビーコン信号を受信し、無事であることが確認された。現在、地球への帰還に向けた運転をしている。「はやぶさ」は、「イオンエンジン」などの多くの新しい技術が利用されている。日本の宇宙開発技術に大きく貢献している。

「トヨタの現場経営」

トヨタ自動車(株) 三浦 憲二氏 (S53)

トヨタ生産方式の基本的な考え方について、イギリスの工場の改善事例や、国内の物流改善事例を交えて説明があった。トヨタ生産方式「TPS」は、「Just In Time」と「自動化」の二本柱を基礎としている。「Just In Time」は平準化を前提に、売れるものを、売れる時に、売れるだけ、売れるペースで生産することにある。「自動化」は、人の生産性向上と品質の確保を目的としている。トヨタ生産方式において改善を行うには、まず生産ラインの見える化、問題の顕在化、個々の問題の解決、マネジメントの基準の向上の段階を踏む。これにより、生産性の向上を大幅に改善するとともに、会社の体質強化と人材育成が行える。



- 懇親会 -

18時から、産業技術記念館ホールA、Bにおいて懇親会が開催された。久保新会長(S41)の挨拶、続いて西田氏(S28)の乾杯の音頭の発声をいただき、参加者一同、食事と歓談を楽しんだ。懇親会途中、松原氏(S60)より、大学の同窓会活動などの大学のトピックスについて、説明があった。さらに、園田氏(H15)からは、中部支部の「若手の会」の設立と活動の説明があった。続いて、新入会員の自己紹介、瀧本氏(S43)より新入会員への激励の言葉があった。最後に、中西中部支部長(S43)より閉会の挨拶、薦田中国四国支部長(S45)より次回総会開催支部の挨拶があり、散会となった。



平成22年度は中国四国地区、平成23年度は関西地区にて開催予定です。今後どうぞご期待ください。

平成21年度京機会役員（敬称略）

【会長】 久保愛三(S41)

【副会長】 熊本博光*(S44)

平田誠計*(S43、関西S)、若園 修*(S42、関東S)
 中西 清(S43、中部S)、薦田哲男*(S45、中四国S)
 藤川卓爾 (S42、九州S) ◎ Sは支部長の略
 津田 慎也*(H20、学生会)

【監事】 森 雅彦(S60)、植木 努(H1)、
 川口東白*(S34)

【代表幹事】 正:吉田英生* (S53)
 副:北條正樹* (S54)

【事務局長】 矢部 寛*(S35)

【常任幹事】

会長指名: 熊澤正博(S43)、牧野俊郎(S47)、

会長指名(活性化委員会担当) 川辺泰嗣*(S40)

地区代表幹事:

(関西) 北野幸彦*(S56)、(関東) 安井良次*(S57)

(中部) 牧野 誠(S57)、(中四国) 高橋一彦*(S58)

◎ * は新任

◎ 正:は正幹事、副:は副幹事の略

大学別幹事:

(関西) 正:田畑 修 (S54)、副:中部主敬(S56)
 (関東) 正:吉田英生(S53)、副:北條正樹(S54)
 (中部) 正:松原 厚*(S60)、副:西脇眞二*(S61)
 (中国四国支部担当) 正:熊本博光(S44)

副:安達泰治(H2)

(九州) 正:井手亜里(S52) 副:宮崎則幸(S47)

(名簿担当) 横小路泰義(S59)

(広報:ニュース) 正:松原 厚(S60) 副:蓮尾昌裕(S61)

(広報:HP) 泉井一浩*(H8)

(会計) 正:星出敏彦(S52) 副:木村健二(S51)

(学生会) 富田直秀(S54)

塩瀬隆之(H8)、泉井一浩(H8)

学生会: 竹内 国貴*(H21)

【通信・情報担当】 山田啓介*(H14)

【顧問】 中川 哲*(S38)

【運営委員会】 運営委員長: 松久 寛(S45)

川口東白、吉田英生、久保愛三、熊澤正博、

星出敏彦、谷垣哲也(S56)

平成21年度京機会学年評議員（敬称略）

卒業学年	氏名	登録	E-Mail	卒業学年	氏名	登録	E-Mail	卒業学年	氏名	登録	E-Mail
1945	谷口 浩	無		1966	中嶋 邦彦		1966hyogin	1988	玉川 雅章		1988hyogin
1946	大矢根守哉		1946hyogin	1967	藤川 卓爾		1967hyogin	1989	石谷 善博		1989hyogin
1947	岸本 雅夫	無		1968	迫 勝之		1968hyogin	1990	水山 元		1990hyogin
1948	岐美 格	無		1969	小谷 重遠		1969hyogin	1991	若林 英信		1991hyogin
1949		無		1970	各務 嘉郎		1970hyogin	1992	岩前 敦		1992hyogin
1950	森川 龍一		1950hyogin	1971	三津田恒夫		1971hyogin	1993	岩井 裕		1993hyogin
1951	吉川 和彌		1951hyogin	1972	秋山 雅義		1972hyogin	1994	茨木 創一		1994hyogin
1952	鈴木 正直		1952hyogin	1973	佐々木美樹		1973hyogin	1995	小森 雅晴		1995hyogin
1953日	乾 宰人	無		1974	閑納 真一		1974hyogin	1996	泉井 一浩		1996hyogin
1953	西田 弘		1953hyogin	1975	山西健一郎		1975hyogin	1997	佐野 智一		1997hyogin
1954	下田 隆二		1954hyogin	1976	杉江 俊治		1976hyogin	1998	鶴飼 宗紀		1998hyogin
1955	田中 道七		1955hyogin	1977	中井 善一		1977hyogin	1999	藤本 亮		1999hyogin
1956	橋本 昌		1956hyogin	1978	上原 一浩		1978hyogin	2000	小田 豊		2000hyogin
1957	福森 康文		1957hyogin	1979	坂口 保彦		1979hyogin	2001	土井謙太郎		2001hyogin
1958	野田 忠吉		1958hyogin	1980	小寺 秀俊		1980hyogin	2002	金田 靖弘		2002hyogin
1959	柴田 俊忍	無		1981	榎木 哲夫		1981hyogin	2003	吉富 聡		2003hyogin
1960	松木 健次		1960hyogin	1982	上井圭一郎		1982hyogin	2004	中安 祐貴		2004hyogin
1961	四方 光夫		1961hyogin	1983	永瀬 豊		1983hyogin	2005	向 朋作朗		2005hyogin
1962	伊藤俊太郎		1962hyogin	1984	横小路泰義		1984hyogin	2006	中務 陽介		2006hyogin
1963	中川 哲		1963hyogin	1985	田坂 誠均		1985hyogin	2007	北川 優太		2007hyogin
1964	垣野 義昭		1964hyogin	1986	蓮尾 昌裕		1986hyogin	2008	鯨岡 絵里		2008hyogin
1965	細田 史朗		1965hyogin	1987	川上 浩司		1987hyogin				

● 該当メールアドレスへ送信すると、学年評議員の京機会登録メールアドレスに自動転送されます。

● E-mailの@の後ろは「keikikai.jp」を入れて下さい。

● 本内容はある種の個人情報です。お取り扱いには十分にご留意下さい。

● 上記一覧の「登録」項目に「無」と記載されている場合、現時点では本連絡システムはご利用いただけません。

● 本連絡システムに対するご質問・ご意見ならびに学年評議員に関するご質問は、京機会事務局(TEL:075-753-5183 E-Mail:jimukyoku@keikikai.jp)までお寄せ下さい。

会計関連のご報告とお願い

会費納入のお願い

平成21年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤としております。是非、会費納入にご協力ください。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

本年度以前の会費が未納の場合には、ぜひ本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合や永年会員登録には、必ず金額等を所定欄にご記入いただきますようお願いいたします。

★永年会員登録のお勧め★

1972年以前のご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費はなく生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金はいたしません。)

★京機会費自動引落のお勧め★

振込みの手間を省くため、京機会年会費自動引落対応も実施しております。申請用紙は、毎年、京機会ニュース春号に同封しております。また、京機会HPからもいつでも出力いただきます。是非ご利用下さい。

なお、ご利用時は下記注意事項をご確認下さい。

- ①申請依頼書は、京機会事務局宛にご郵送下さい。
- ②4/20までに事務局に到着した申請書は、新年度会費分として引き落としされます。
- ③4/20以降到着は、次年度の対応となります。
- ④振込手数料は、京機会負担です。

寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成21年度ご寄付者 (H21. 3. 1~H21. 9. 11)

江本 隆一様 (1948) 大路 清嗣様 (1953)
 柴谷 真治様 (1959) 垣野 義昭様 (1964)
 藤川 卓爾様 (1967) 二宮 慶治様 (1997)

平成19~21年度会費をご完納いただいた会員には、「2009年度版最新名簿」を贈呈いたします。



なお、京機会名簿は贈呈のみで販売はいたしません。



京機会名簿にかかるご連絡は、京機会からのみ行います。類似の問い合わせにはご注意ください。

平成20年度京機会決算 (簡略版) 自 H20. 3. 1 至 H21. 2. 28

I. 一般会計の部

1. 前年度繰越金 (平成18年度会計より繰越) ¥9,610,259

2. 収入

摘要	金額	内訳
預金利息	11,604	
会費収入	7,156,000	
寄付金	177,000	
名簿広告収入	0	
秋季大会・交流会懇親会費	368,000	一般 91名*@3000 学生会員 71名*@1000 非学生会員 7名*3000
学生と先輩の交流会参加費	5,550,000	H20年度111社*@50000
合計	¥13,262,604	

3. 支出

摘要	金額	内訳
会員通信費	903,351	春季・秋季大会案内発送費等
印刷費	1,401,125	春季・秋季大会案内等印刷費
備品消耗品費	132,020	文具等消耗品購入費等
人件費	4,317,092	常勤アルバイト代・保険代等
支部交付金	1,828,104	関西支部交付金他4支部
旅費	833,762	幹事会役員旅費等
会議費	322,227	幹事会経費等
大会経費	1,737,891	総会懇親会等経費等
学生会事業費・機械系教育補助費	832,955	SMILE活動費・工場見学補助等学生支援費
業務諸費 (手数料関係)	213,810	郵便振替振込手数料等
雑費	89,827	HPレンタルWEP使用料等
特別戦略費	1,152,900	事務局強化費
名簿積立金	355,000	
合計	¥14,120,064	

4. 次期繰越金 (平成21年度会計へ繰越) ¥8,752,799

5. 名簿積立金 (平成21年度会計へ繰越) ¥710,000

6. 基本金 (平成21年度会計へ繰越) ¥383,530

II. 特別会計の部

1. 資産財産目録 ¥18,787,419

2. 収支明細

摘要	収入	支出
定期貯金利子	21,400	
国債利息	88,000	
合計	21,400	525

若手による研究・教育の紹介 (6)

私はプラズマ中の原子分子のダイナミクスや反応素過程の研究を専門にしています。原子分子は電荷を持たないため、プラズマ中で計測を行うには励起状態間の遷移に伴う発光スペクトル（または吸収スペクトル）がしばしば利用されます。しかし、レーザーや粒子ビームを利用する場合を除けば、観測する発光スペクトルは視線上に存在する発光の線積分となるため、空間分解能が低下してしまいます。そこで、この問題点を解決するために磁場を利用した発光の局所計測法を開発しています。

この手法は、磁場閉じ込め核融合プラズマのような強い磁場中に閉じ込められたプラズマを対象としています。例としてトカマク型のプラズマ閉じ込め装置を考えます。トカマク型装置はトーラス状のソレノイドコイル内部にプラズマを保持し、ソレノイド磁場とプラズマ電流が作る磁場によってプラズマを閉じ込めます。中心部には完全電離プラズマができるため、原子分子は壁に沿った領域に存在します：図1(a)。トーラス断面上の視線で原子分子からの発光を観測する場合を考えると、得られる観測結果はトーラスの内側と外側の発光が重畳したものになり、空間情報が損なわれてしまいます：図1(b)。そこで、装置内の磁場強度が径方向に勾配を持つという特徴に注目します。磁場中に置かれた原子分子は、電子と原子核が持つ角運動量に起因する磁気モーメントと、磁場との相互作用によって、エネルギー準位のシフト(ゼーマン効果)を起こします。その結果、磁場強度に応じて発光スペクトルの波長が変化するため、図1(c)のように内側と外側ではスペクトルが異なった形を持ちます。内側と外側の発光がそれぞれ空間的に局在化しており、単一のスペクトルで表せる場合には、スペクトル形状の違いを利用して、重畳した発光スペクトルを分離することが可能です。

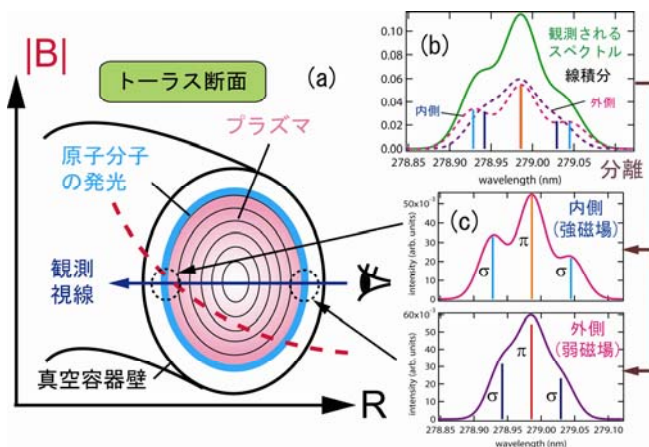


図1. 計測法の原理

例として、この手法を利用して測定したヘリウム原子発光線を図2に示します。図2(a)はプラズマの中心を通る視線で観測したスペクトルです。偏光分離計測により、ゼーマン効果で波長が顕著に変化するs光(遷移に伴う磁気量子数の変化が $DM = \pm 1$ の成分。)のみを観測しています。観測スペクトル(実験値：赤色の丸)は、トーラス内側と外側由来する発光が重畳した複雑な形状になっています。内側の発光点では、外側と比べて磁場強度が強く、ゼーマン効果が大きくなります。このため、スペクトル形状の違いから、観測スペクトル(フィッティング曲線：黒色の実線)を内側(水色の点線)と外側(ピンク色の破線)のスペクトルに分離することができます。さらに、磁場強度と径方向位置は1対1に対応するため、ゼーマン効果の大きさから視線上の2箇所の発光位置が図2(b)のように分かります。図中、丸印の大きさが相対的な発光強度を表しています。スペクトルを分離しているため、スペクトル形状から求まるドップラー広がり(温度)やシフト(流速)の局所値も同時に測ることができます。

得られた温度や流速の局所値をもとにして、プラズマ中の原子分子の振る舞いが少しずつ明らかになってきました。プラズマ計測は、このように手を替え品を替えながら目的とする物理量をいかに測るかを考える面白さがあるように思います。

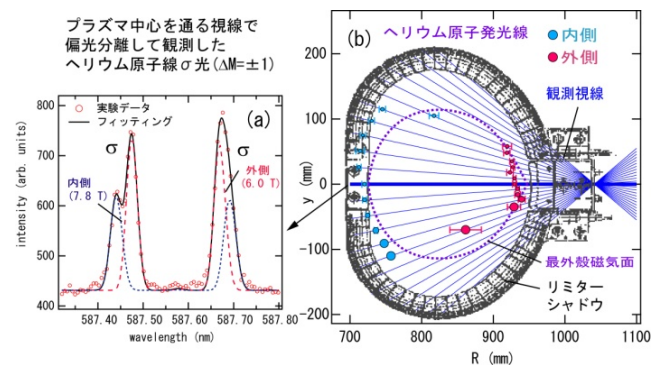


図2. ヘリウム原子発光線の局所計測



しま たいいち
四竈 泰一

機械理工学専攻物性工学講座
光学分野 助教

1979年生まれ。茨城県出身。2002年東京大学工学部システム創成学科システム量子工学コース卒。2007年同大学院工学系研究科システム

量子工学専攻博士課程修了。同助教を経て2008年4月より本学に着任。専門はプラズマ計測。



平成21年上期 活動報告

関西支部では、今年度、新たにMOHR・MOT若手交流会など新しい企画をスタートさせ、ますます元気に活動しております。

平成22年度新年会・総会のお知らせ（重要）

平成22年度も下記の通り、総会・新年会を予定しております。なお、平成22年度の総会・新年会のご案内は、本記事と、年末にあらためてお送りするメールのみになります。

従来の往復はがきによるご案内はありません。

関西支部会員には別紙案内を同封しております。

インターネットをご使用されない方につきましては、本京機会ニュースに同送しました別紙をご参照の上FAXでお知らせください。

開催日：平成22年1月16日（土）

場所：ホテルグランヴィア大阪

内容：15：00 ～ <特別企画> リalent講演会

17：00 ～ 総会

17：45 ～ 新年会

出来る限り経費を節約し活動の充実に活用していきたい、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

■ 産学懇話会

第31回：平成21年6月13日（土）参加者数：37名

①「熱⇄熱の交換技術にまつわるお話」

中部主敬氏（京都大学）

②「ケナフボードの開発にかけた10年」

奥平有三氏（パナソニック電工）

③「新型フェアレディZの開発秘話」

湯川伸次郎氏（元日産自動車）

■ 異業種交流会

第28回は、11/20(金)関西電力大飯発電所またはコマツ栗津工場見学、あわら温泉(政竜閣)で懇親会および宿泊の予定。確定次第e-mailにて案内します。

■ MOT研究会（京機会サロン）

第36回：平成21年8月1日（土）国立文楽劇場

参加者 27名

演目は「生写朝顔話」で愛する二人のすれ違いに涙した方もおられたとか、夏の一日をご夫妻で楽しんでいただいたむきが多かったようです。



第37回：平成21年9月16日（水）大阪弥生会館

「これからの日本と産業育成について」（株）日立製作所、スタンフォード研究所、日本アジア投資を経て現在JAICシードキャピタル社長と多彩な経歴を持つ佐々木美樹氏（S48）が日本を子々孫々に亘って維持可能な国家にするために、今我々の世代が出来ることは何かを論じていただきました。

・若手交流会

MOT研究会では、京機会の若手の層の活性化に向けて新しい企画をスタートしました。

○第1回 平成21年6月6日（土）

場所：大阪市中央公会堂等

参加者：17名（会員9名，家族5名，友人3名）

内容：クラシックピアノ鑑賞と昼食会



京機会と縁のある若者の集まる会です。文化的行事と懇親会を合わせて行う本会は、女性参加者の割合も多く普段の生活にはないフレッシュな交流の場となっています。

■ MOHR研究会(MOHR: Management of Human Relation)

産学連携で企業も大学もその実を上げる事の重要性が叫ばれています。しかし、企業内で京大同窓生の名簿すら無い状態の企業が多く、同窓会を介して大学と産業界・政界が結びつくことが困難な状態です。

この状況を打破する一案として、関西支部が、【MOHR研究会】を企画し、平成20年度、パイロット的に2社で実施した結果、非常にポジティブな反応が返ってきました。

平成21年度より、正式に関西支部企画と致し、第1回は、6月5日に三菱電機(株)、第2回目は、8月29日にパナソニック(株)で行いました。

なお、10月9日に神戸製鋼所(株)、その後、住友金属工業(株)、大阪ガス(株)でも開催の予定です。

開催後の評判は極めて良く、「なぜもっと早くからやらなかったのだろう」、「次いつやるかを考えよう」等と非常にポジティブな反応が返ってきております。



パナソニック京機会 2009.8.29(土) 松心会館にて

■KMC（京機会MOTセンター）

KMCビジネスマッチング部では、京都リサーチパーク(KRP)などのビジネスパートナーと連携し、インキュベーション施設が支援しているベンチャーや中小企業のもつ新技術・新製品と買い手側企業のもつニーズを仲介する場を設け、売り手と買い手双方がメリットを得るビジネスマッチング支援活動に取り組んで参りました。

これまで自動車、鉄道と分野を絞り、従来と較べて高いマッチング率を達成してきましたが、本年11月は、エネルギー・環境分野で、大阪ガス(株)と京機会関係から数社の参加が予定されています。

大阪ガス(株)は技術開発と市場開拓のスピードをあげるため、これまで公表してこなかった社内ニーズを公開して他企業と連携するオープンイノベーション戦略を打ち出していますが、こうした連携の考え方は、今後ますますビジネスマッチングへの期待を高めるものと考えられます。今後の課題は、データによる事前のマッチング、質の高い技術評価、さらに機械系以外の技術分野への対応として他学部、他大学(そのOB会)などへの知識ネットワークの拡大です。

■京機・京都の会

京都近辺の京機会会員交流会を3、7、9、12月の第一土曜日、ウエスティン都ホテル(三条、蹴上)で11時から開催しています。毎回40分程度の話題提供の後、会食・懇談の楽しい一時を過ごしています。

今年はこれまで3回開催され、3月7日には、林和宏氏(S41)から「以柔制剛」(機械の潤滑・心の潤滑)、7月4

日には、小浜弘幸氏(S32)から「ピッチングと斑摩耗」(戦前の西原先生の研究業績)というお話をいただきました。また、同日は松久寛教授から大学の近況報告をいただき、その変容ぶりにも話が弾みました。

9月5日(土)は城下荘平氏(S44)に「総合博物館で私が行ってきたこと」と題しての話がありました。

【後半の予定】

・12月5日(土) 話題提供は未定
参加希望の方は幹事の藤尾博重、または森淳暢までご連絡下さい。

■京機九日会

10月は恒例の忘年会を兼ねて開催します。奮ってご参加下さい。ご質問などあれば、H21年幹事駒井謙治郎、西脇一宇、大西邦彦、中村陽一(いずれもS38卒)までご連絡下さい。

日時:10月9日(金) 11時～14時

場所:大阪堂島 中央電気倶楽部

講演:「京都大学の全学共通教育(教養教育)について」
北村隆行氏(S51)

【H21年 上期実績】

4月9日 「どうしようもない人間の限界について」
久保愛三氏(S41)

6月9日 「体操競技—その魅力と工学的アプローチ」
名和基之氏(S44)

8月10日「船用ディーゼル機関の技術発達史外観」
中村陽一氏(S38)

中国・四国支部からのお知らせとご報告

■平成21年支部総会・異業種交流会について

平成21年2月28日(土)広島市RCC文化センターにて、支部運営会議および支部総会を開催致しました。引き続いての「異業種交流会」では、下記のご講演を行なって頂きました。

①「構造最適化法を用いた最適設計の基礎と応用」

竹澤 晃弘 氏(広島大学)

②「CO2排出量のさらなる削減を目指して」

富山 道雄 氏(マツダ(株))

その後、昨シーズンで役割を終えた旧広島市民球場とほぼ建設が完了したマツダZoom-Zoomスタジアム広島の見学を行い、広島オリエンタルホテルで懇親会を行ないました。



■平成21年度活動予定

地区別交流会

昨年に引き続き、岡山地区/広島地区/四国地区の交流会を開催致しますので、会員のみなさまのご参加をお願い申し上げます。

詳細は、Eメールおよび本部HP掲載にてお知らせします。いずれも10月中旬～11月開催の予定で調整中です。

■平成22年春季大会・総会のご連絡

平成22年春季大会・総会は、中国・四国支部主催により下記の予定で開催いたします。

詳細は追ってご連絡致しますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い致します。(平成22年支部総会は、当春季大会と併せて開催します。)

・平成22年4月17日(土)

14:00～(総会、講演会)、17:00～(懇親会)

・場所: ホテルグランヴィア岡山(JR岡山駅前)

総会に先立ち、工場見学(JFE西日本製鉄所(倉敷))や岡山後楽園散策などの行事も計画しています。



支部だより

関東支部からのお知らせとご報告

第1回支部若手活性化活動のご報告


本年度新規企画である若手活性化活動は、「ビアガーデン同窓会」として、5月31日(日)に、あいにくの雨天ではありましたが、35名の参加を以って盛大に開催されました。皆さまご参加有難うございました。



2009年度 異業種交流会のご報告

本年度は、9月18日(金)に、(株)IHIの横浜事業所にて開催されました。

- ・講演:最近の船用内燃機関の発展
中島利幸氏 (株)ディーゼルユナイテッド
取締役営業部長(S52卒)
- ・IHIマリンユナイテッド造船工場見学
- ・懇親会

 右記は
第9回(H21.1.24)
支部総会・新年会
の様子です



第10回関東支部総会・新年会のご案内

日時:平成22年1月23日(土) 13:30~

場所:日立金属 高輪和彊館

・リカレント教育講座

「生体組織・細胞の力学構造と

機能的適応:力学とバイオ」

安達泰治氏(京大・機械理工学専攻准教授)

・関東支部総会・新年会

(詳細は別途京機会HPに掲載します)

*申し込みは、京機会HPでお願い致します。ご利用できない場合は、「関東支部総会」「支部新年会」「リカレント講演会」の出欠をお書き頂き、お名前、学部卒業年次、連絡先、御所属を御記入の上、FAXにて京機会事務局075-753-5183にご送信下さい。多数のご参加をお願いします。

中部支部からのお知らせとご報告

本年度の京機会春季大会・総会を4月18日、当中部支部主催にて開催いたしました。

皆様のご協力のおかげで、当日は約200名の方々に参加頂き、大変盛況な、そして充実した時を会員諸氏と共有することができました。関係者一同、大変感謝しております。有難うございました。(会の報告はP.4を参照下さい。)

■ 中部支部総会の報告

日時:平成21年4月18日(土) 14:30~14:45

京機会春季大会・総会開始前の時間を使い、中部支部の総会を開催しました。活動報告、予算報告、役員選、本年の計画などを報告・審議しました。

■ 技術交流会の報告

日時:平成21年7月1日(水)14:30~19:30

場所:住友電装(株)本社工場(三重県四日市市)

参加人数:26名

講演:住友電装の「ピカピカ運動」西田光男様(S45)

「日本のモノづくり力の強化(Made By Japan)と、グローバル生産での世界ダントツ同一品質」を目指し、平成15年からグローバル住友電装として取り組まれている『ピカピカ運動』について講演をいただいた後、海外生産拠点のマザー工場=本社工場でワイヤーハーネス製造工程を見学しました。海外に約100社、11万人の手作業中心の生産体制の中で、品質をいかに根付か

せ向上させるか、様々な経営的な施策とその成果を伺いました。



■ 「若手の会」懇親会

日時:平成21年9月4日(金)19:00~21:00

場所:名古屋市居酒屋にて

参加人数:若手会員20名、支部幹事8名

「京機会を若い人にも魅力ある会」とすることを目的



に、入社5年目までの若手会員に企画いただいたイベントの第一弾。企業の中核で活躍している方との懇親会を開催しました。



九州支部H21春の行事の報告

平成21年3月28日(土)に、三菱重工阿蘇高原クラブにて九州支部のH21年度春の行事を開催しました。

午後3時から、九州支部初の「リカレント講演会」を行いました。京都大学の吉田英生教授(S53:京機会本部代表幹事)が、「地球温暖化:その科学的真実を問う」と題して講演しました。会員の家族3名と4月から三菱重工長崎研究所に就職する修士修了生と京機学生会SMILEの女性を含めて15名が出席しました。



夕方からの懇親会では、中川前会長(S38)のご挨拶、川口前々会長ご発声の乾杯のあと、出席者各自が近況を報告しました。学生からは同窓会がこんなに身近なものとは思わなかったとの声がありました。



翌日行事はゴルフ大会と観光に別れました。

ゴルフは、阿蘇東急ゴルフクラブで4人がプレーしました。川口前々会長(S34)が優勝し、平成17年11月の支部設立総会時の大雨で3年半の間保管されていた優勝盾を獲得しました。川口前々会長は京機九州の会立上げ以来九州支部行事への皆勤が報われました。



観光は、先ず阿蘇中岳ドライブ登山を目指しましたが有毒ガス警戒中で火口まで登れず、草千里から眺望しました。その後、高森峠を南に越えて、宮崎県の「やまめの里」まで足を伸ばし、やまめ料理を楽しみました。



九州支部 平成21年秋の行事のご案内

日時：平成21年10月31日(土) 場所：北九州市

第一部：総会・見学会

北九州コタン&イナギ -ホ-ク 13:00~16:40

- 13:00 JR戸畑駅前集合(南改札口前)
- 新日本製鐵(株)八幡製鐵所 総合センター見学室
- 総会：環境首都北九州の活動状況、
新日本製鐵(株)の環境事業の取り組み
- 14:00 北九州エコタウンセンター
エコタウン・ひびき灘開発状況説明
- 15:00 白島石油備蓄基地展示場
PRプレゼンテーション(ビデオ)
展望台より石油備蓄基地、風力発電見学
- 15:35 北九州エコエナジー 見学
- 16:15 西日本ペットボトルリサイクル(株) 見学

第二部：懇親会

料亭 金網 17:00~19:30

〒808-0034 北九州市若松区本町2丁目4-22
TEL: 093-761-4531 <http://www.kinnabe.com/>

懇親会費：本人 ¥8,000.- 家族 ¥5,000.-

●総会・見学会ご参加の方は、JR戸畑駅前(南改札口前)に集合ください。

(新日本製鐵(株)のバスで迎えに参ります。)

●懇親会のみご参加の方は、直接会場においでください。(若戸大橋西詰め)

参加申し込み方法：

京機会HP、同封返信葉書でのご登録か、または下記幹事宛にメールにてお申し込み願います。第一部、第二部のみのご参加も歓迎いたしますが、その旨明記願います。

幹事：

京機会九州支部 事務局長

西日本ペットボトルリサイクル(株) 千々木 亨(S54)

もうすぐ会員名簿が発行されます！ 名簿掲載のデータ更新の最終締切は11月16日(必着)です

今年は会員名簿発行の年にあたり、来年1月中旬の発行に向けて現在順調に最新名簿の編集作業が進んでおります。この会員名簿は、京機会会費を平成19年度~21年度分完納いただきました会員の皆様には無料でお送りすることとなっております。

なお、今回発行の名簿に掲載されます各個人データの更新の最終締切は11月16日(必着)となっております。会員の皆様におかれましては、今回同封いたしております名簿データの内容をご確認の上、変更がございました場合は11月16日迄(必着)に京機会事務局宛に、同封の返信はがきかE-mailにてご連絡下さい。

更新締切を過ぎますと、本年度発行の最新名簿にデータが反映できませんのでご注意ください。

京機会では3年ごとに会員名簿を発行しておりますが、個人情報をご不正使用した被害が頻発する中、皆さんもご自身の個人情報に関しましては常に注意を向けられることと存じます。このような情勢の中での名簿発行につきましても、細心の注意を払いながら編集作業を進めております。

京機会会員名簿については、専用ホームページも用意しておりますのでご覧ください。

(http://www.keikikai.jp/honbu/youji_meibo_frame.html)

先輩から学生の皆様へのメッセージ (7)

村瀬やよい氏の略歴：吉村研出身。H15年学部卒、H17年修士卒、東京電力(株)に入社。火力発電所での当直(運転)業務や熱効率管理業務に従事後、現在は技術開発研究所にて二酸化炭素の回収・貯留に関する研究に従事。



学生の皆様、はじめまして。旧吉村研(現在の生産システム工学研究室)卒の村瀬です。「なぜ機械系なのに”電気”を作る会社?」「電力会社で地球温暖化対策の研究って?」という視点から、なじみがありそうでない、電力会社について紹介してみたいと思います。

はじめに、学生時代について簡単に述べさせていただきます。私が所属していた吉村研は、最適化をテーマにした研究室です。機器を設計するとき、例えば「最も軽くて最も頑丈な梁の長さは?」という問題の一番良い解(=最適解)を論理的に導き出したりするのが、最適化問題と呼ばれているものです。私は、 μ -LabSatと呼ばれる小型衛星を題材に、衛星に搭載する機器の配置最適化問題に取り組みました。

会社に入ったら最適化手法を使う機会はもうないのではないかと想像していましたが、意外なことにこれまでに何度も私自身がツールとして使ったり、周りで使われたりするのを見えています。発電設備の膨大な運転データを整理して結論を導き出したり、未確定な未来の情報を盛り込んで将来の予測をするときに、実は欠かせない手法であることを実感しています。大学で日々行われている研究がこのように現場業務で役立っているのを見ると、大学が果たす役割について改めて気づかされます。

前置きが長くなりましたが、電力会社での業務について述べたいと思います。まず、「機械系出身者が電力会社でやることはあるのか?」という疑問について。答え:たくさんあります。発電設備は、機械の塊です。タービンのような回転機器で異常振動が発生しないようにするには振動工学の知識が、要求された発電電力を常に発生させるためには制御工学の知識が、発電設備全体が高効率で発電し続けるためには熱力学の知識が必要です。さらに、破断、繰り返し応力、ボイラでの燃焼等、挙げていったらきりがありません。

発電所で働いていた3年間は、大学時代に学んだ知識を総動員しながら、トラブルの原因は何か、もっと熱効率を上げるにはどうすればいいかを考える毎日でした。もちろん同じ業務に従事している上司に着眼点や過去のトラブル事例を教わりながら日々経験を積んでいったのですが、初めて経験する事例に遭遇し

たときは、大学時代に単語だけでも耳にしたことがあるという事実が励みになったりしました。学生の皆様には、大学で学んだことは決して無駄にはならない、少しでも多くの知識に触れてほしい、というのがまだ社会人5年目の私からのアドバイスです。関係なさそうでも、いずれ、役立ちます。

さて、それでは現在の研究所での業務についても簡単に触れたいと思います。現在所属しているのは、地球温暖化や環境をキーワードにした調査・研究に取り組んでいる部署です。なぜ、日本で最も二酸化炭素を排出している会社が、地球温暖化対策なのか。私は、その意義について、次のように考えています。

二酸化炭素排出量は、エネルギーの使用量×そのエネルギーの単位あたり二酸化炭素排出量で決まります。エネルギーの使用量を減らすのは、各家庭や企業での取り組みであったり、より高効率な機器(ヒートポンプ等)の開発やより二酸化炭素排出量の少ないエネルギーへの転換(電気自動車等)などがあります。いずれにしても、鍵になるのは使用者自身の選択、どの機器・エネルギー源をどれだけ使用するのか、ということになります。

一方、エネルギーの単位あたり排出量を減らすことができるのはそれを作るところ、つまり電気の場合は発電所や、発電所から使用される場所まで運ぶ送電線での取り組みだけです。具体的には、原子力・水力発電をはじめとする各種発電方式を最適な組み合わせで発電すること、また火力発電所の熱効率をさらに向上させることによって、単位あたりの二酸化炭素排出量を減らすことができます。「地球のために何かしたい、だから二酸化炭素を排出する火力発電所で、自分に何ができるかを探しに来た」と話していた同僚がいましたが、火力発電所での高効率発電への取り組みが、地球温暖化対策につながるのです。

天気や気温によって時々刻々と変化する日々の電力需要に対し、電気を供給し続けるという瞬間的な対応を求められる仕事でありながら、一方で数十年先のライフスタイルを見据えて発電所建設の計画が練られているなど、分野・時系列ともに非常に幅広いのが電力会社の特徴ではないかと思います。

最後に、これから就職活動をされる学生の方へ。今後京機会のイベント等で様々な企業の方と直接お話しする機会があるかと思いますが、なじみのない分野のブースへも積極的に話を聞きに行ってみてください。何か新しい発見があるかもしれません。以上、最後までお読み頂きありがとうございました。

教員の異動

就任

◆**松野文俊教授**：S61年阪大大学院・基礎工学研究科博士後期課程修了。阪大、神大、東工大、電気通信大を経て、H21.4より京都大学教授となり、現在に至る。神大在職時に阪神淡路大震災で指導学生を亡くし、レスキュー工学の創設に邁進。H14よりNPO国際レスキューシステム研究機構理事、H17より副会長。



主に、ロボティクス、制御工学、工学医学心理学を融合したレスキュー学に関する研究に従事。

◆**西脇眞二教授**：S61京大・工・精密、S63修士課程修了。S63(株)豊田中央研究所入社。H10米国シガン大・機械工学・応用力学学科博士課程修了、Ph.D。(企業派遣により学位取得)。H14(株)豊田中央研究所退社。H14本学精密工学専攻助教授、H17航空宇宙工学専攻助教授、H19航空宇宙工学専攻准教授。H21本学機械理工学専攻教授。トポロジー最適化を中心とした構造最適化、最適システム設計、生産システムの研究に従事。



◆**琵琶志朗教授**：H2京大・工・機械卒、H4修士課程修了、H7博士後期課程研究指導認定退学、助手、博士(工学)、H10名古屋大・工・マイクロシステム工学専攻講師、H16計算理工学専攻講師を経て、京大・エネ科・エネルギー変換科学専攻助教授、H19同准教授、H21.4.1工学研究科マイクロエンジニアリング専攻構造材料強度学講座教授。専門は固体力学(弾性波動、マイクロメカニクス)、非破壊評価工学(超音波)。



◆**高垣直尚助教**：H16京大・工・物理卒、H18同大学院工学研究科・修士修了、H21同博士後期課程修了、H21.4.1本学機械理工学専攻助教。液滴(雨滴)の気液界面衝突時の微細な流動機構から地球規模での大気・海洋間の物質移動に及ぼす降雨の影響の解明など、マルチスケールの研究内容に従事。



◆**福島宏明助教**：H7京大・工・精密卒、H10同大学院工学研究科・修士課程修了、H13同情報学研究科・博士後期課程修了、同年日本学術振興会特別研究員(PD)、H16電気通信大知能機械工学科助教、H21.4.1本学機械理工学専攻助教。専門は制御工学。最近はとくに移動ロボットの制御系設計に従事。



◆**横川隆司助教**：H12京大・工・物理卒、H17東大工学系・電気・博士課程修了、博士(工学)、H17.4.1-H21.3.31立命館大・マイクロ機械システム工学科専任講師、H21.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻助教。マイクロマシニングと生体分子を融合したMicroTASの開発研究に従事。



異動

◆**泉井一浩助教**：平成21年4月1日、航空宇宙工学専攻から機械理工専攻へ

◆**津守不二夫講師**：平成21年4月1日、九州大に異動

京都大学ホームカミングデーのご案内

京都大学
ホームカミングデー

Home Coming Day

第4回京都大学ホームカミングデー

【日時】平成21年11月14日(土曜日) 【会場】京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール他

詳細は、京大HPをご覧ください http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h8/d2/news4/2009/091114_1_1.htm

学生会SMILEからのお知らせとご報告

平成21年度上半期の活動報告インターンセミナー

日時:平成21年5月27日

参加学生:約50名(主に修士1回生、学部3回生)

内容:インターンシップとは
どういうものか、参加すること
で何をすることができるのか、
今後就職活動を控えた学生
のために、過去にインターン
シップに参加された先輩方に
パネルディスカッション形式で
インターンシップの内容を発表
して頂きました。



特許に関する講演会

日時:平成21年7月3日 参加学生:約20名

講演者:西村 竜平様(京都北山特許事務所)

内容:ご自身が発明家であり
現在は弁理士としてご活躍
されている西村様に研究者
として知っておくべき特許
に関する基礎的な知識を
講演して頂きました。特許



許に関して知識の浅い我々にとっても非常にわかりやすく、参加学生の感想もとても好評でした。このような普段の授業では学べないことを学生が学べるような場をもっと提供していきたいと思っております。

平成21年度下半期の活動

◆中部工場見学会

日時:平成21年9月17日～18日

昨年度も実施致しました中部工場見学会を今年度も実施致しました。場所はトヨタテクノミュージアム産業技術記念館、デンソー大安工場、三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所、日本ガイシ(株)ハニカム工場を2日間かけて訪問させて頂きました。この企画を通して京機会の学生に代替わりを迎えた新SMILEのことをより深く浸透させ11月に行われる交流会では1人でも多くの学生が参加できるようにしたいと考えております。

◆学生と先輩の交流会について

日時:平成21年11月28日

場所:京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール

昨年度はこの交流会に、100社以上約200名に及ぶ先輩方と約300名の京機会学生が参加致しました。

今年度は従来の物理系校舎と違い、時計台記念館国際交流ホールにて開催致します。「学生と先輩との交流会」の後は、学生とOBの方々がより気軽に話をして頂けるような懇親会を予定しており、学生またOBの方々が双方ともに有意義な時間を過ごして頂ければと考えております。できるだけ多くの京機会員の方々に参加して頂くことで、より素晴らしいイベントにしたいと我々は考えておりますゆえ、皆様のご協力のほどどうか宜しくお願い申し上げます。

会員のページ

第26回 花房研同窓会のご案内

恒例の花房研究室の同窓会を本年も下記要領で開催いたします。関係者の方は是非ご出席下さい。お問い合わせは杉江(京大・情報学・システム科学専攻)まで。

日時:平成22年10月31日(土)

(a) ハイテクノロジー懇話会 15:15～16:15

場所:黄檗プラザ(京都大学宇治キャンパス構内)

(b) 花房研究室同窓会 17:00～20:00

場所:魚三樓(うおさぶろう)TEL:075-601-0061

京都市伏見区京町3丁目187番地

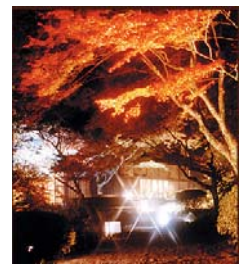
なお、昨年同窓会の写真を添付します。

問い合わせ先: 杉江俊治



昭和45卒同期会開催のご案内

皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか? メンバーから、今年は同期会は開かないのかとの催促を頂き、昨年春に引き続きこの秋に同期会を開催することに致しました。奮ってご参加下さい。



日時:2009年10月31日(土) 17:30～20:00

場所:東山山荘(京都市山科区北花山上稚児ヶ池1 (TEL 075-581-3510))

京の町中から程近いながらも喧騒から遠く離れた山中にある静寂の邸宅です。

会費:15,000円

連絡先

1)松久 寛

2)各務嘉郎

その他詳細については別途メールにてご案内申し上げます。メールアドレスの未登録の方は、京機会に登録してください。家族同伴歓迎。

会員のページ

50年会(昭25年卒)2009年春季大会総会

日時:平成21年5月11日(月)

場所:大阪倶楽部 出席者:8名

風薫る爽やかな季節、春季例会は予定通り大阪倶楽部で開催された。昨年50年会今後の運営方法について全員にアンケートをとったがその結果を参考にして今後の運営を定めた。今後は例会の開催を年1回とし、5月の第3月曜日に大阪倶楽部で行いことにした。次に太田君から「本州北端3岬の旅」について現地の状況を詳しく聞き参考になった。その後、会員の近況など話し合いの交流を深めた。次回は卒業60周年にあたる。5月17日(月)11時に大阪倶楽部で懐かしい共通の記憶を甦らす思い出話に花を咲かせることになった。

(小澤記)



昭和54年卒同窓会

日時:平成21年5月30日(土) 参加者:29名

前回の大学院修了20年記念(平成13年)から8年が経過しましたが、大学卒業30年記念として第2回の同窓会を「ホテルグランヴィア京都」今昔の間で開催しました。折からの新型インフルエンザ騒ぎで心配しましたが、29名が元気に集まりました。

冒頭に平成17年逝去された西橋君への黙祷のあと、坂口と北條による挨拶と大学の近況報告、柏原君の乾杯で懇談に入りました。抽選により、近況報告は小西君、尾崎君、杉山君に、最後の締めは中嶋君にお願いしました。30年ぶりのメンバーもいて最初は名札も役に立ちました。50台も半ばに近くなり、子供の就職や進学、不況の克服と、話題も変わってきました。半数以上が駅ビル内の「がんこ」での二次会に参加しました。

次回は関東地区で間をあまりおらずに開催したいと考えています。

(坂口、北條記)



昭和49年卒同窓会 -4月19日名古屋で開催-

我々の同窓会は今まで、限定版では行ったことがありますが、広く案内し、開催したのは卒業以来初めてです。関東と関西の間である名古屋の鮎屋さんで昼から宴会を举行了。30数年ぶりの再開の方々もあり、体形、風貌はかなり変化していましたがアルコールが入り各人のこれまでの人生生活、近況報告となると、ワイワイガヤガヤと賑やかになり、気楽で和やかな会合となりました。

参加者は、10名で吉田君には事前案内、会場手配、当日の幹事役と大変お世話になりました。次回は、アラクンのころ、もっと大勢で行いたいと思っています。

(閑納記)



吉村允孝教授定年退官お祝いの会

関西近郊在住の奥島研47、48、49年卒の有志9人が集まり、3月7日に京都にて開催しました。

まず、先生の研究室でサイン入りの著書をいただいた後、時計台サロンに移動して歓談。教養部から吉田寮を抜けるコースで京大構内を散策して、聖護院河道屋養老にて宴。最後に先生に、記念の刻印入り懐中時計を贈呈しました。

「紅顔の美少年の面影と、今のおじさん顔を重ね合わせ、30有余年の歳月の重みを感じます。この仲間がそれぞれの立場で築いた日本の20世紀と21世紀は、素晴らしいものであったと心から喜びたいと思います。人生まだまだ続きがありますよ、乞う御期待！！」

(阪上) これから、同窓会としてちょくちょく開催します。

(下尾記)



会員のページ

昭和30年卒同窓会

日時:平成21年5月18日(月)

場所:京大桂キャンパス → 筍亭

運悪く、最初に大阪・兵庫で新型インフルエンザの感染者が急増し始めた時期であったが、幸運にも当日はさわやかな五月晴れの好天にめぐまれた。広報担当の熱心で丁寧なご案内により広大な桂キャンパスの共通施設、土木建築工学研究用の大型構造物の実物実験設備等の見学、および台風・ハリケーンの発生と発達過程を解明する目的の風波水槽の見学とご担当の機械理工学・小森教授の解説を興味深く拝聴することができた。その後、自家竹林と美しい庭園にかこまれた筍亭で自信作である数々の旬のたけのこ料理に美酒も大いに進み、久々に歓談の花をさかせつつ楽しい一夜をもつことができた。

最後に懸案であった同窓会のH24年以降の進め方について、各位の高齢化もすすみ、生活環境も変化するであろうことも十分に考えた上で、各位の熱望により、当面の常任幹事を選出し、簡素であるが楽しく毎年1回開催することで合意が得られた。(荒木記)



京機・京都の会

第42回例会が17名の参加者を得て、3月7日(土)11:00～13:30ウエスティン都ホテル(京都)菊の間で開催されました。話題提供はS41年卒の林 和宏氏の「以柔制剛」(機械の潤滑・心の潤滑)でした。

空気軸受け分野で自身が考案した「以柔制剛」の数々の事例の他に、俳句、和歌の分野における創作事例も紹介していただきました。また、冷泉家で和歌を学んでおられる奥様を氏が創作協力することで「以柔制剛」を実践されているように受けとめられました。

7月4日(土)は、小浜弘幸氏から西原先生の業績について話題提供していただきました。また、松久教授に京都大学の現状紹介をいただきました。

(元田記)



京機・京都の会 3月7日の様子

銀友会(昭36年卒)の報告

昭和36年卒の仲間は、銀友会として、関東と、関西で夫々会合をもっておりますが、東京地区では、原則として毎年11月に出来る限り集まる事にしています。

平成20年11月7日に、日立目白クラブに於いて、13人が集まり、卒業以来、ヤット会えた仲間も含め、誠に愉快なひと時を持つ事が出来ました。卒業以来の大きな動き、経歴、趣味、最近の活動状況等々、時間の許す限りエンジョイの後、来年度の再会を期して散会しました。平成21年の会合は、11月13日(金)開催予定です。

(小野記)



●京機会ホームページ (<http://www.keikikai.jp/>) において、各学年&研究室の最新の同窓会風景はバックナンバーと共に掲載いたしております。

●学年&研究室同窓会開催案内や掲示板としても京機会ニュースをご利用下さい!

京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)をお願いいたします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただくことがあります。また、お送りいただいた写真は返却いたしません。ご了承下さい。画像ファイルも可能です。

次号(2010春号No. 26)の締切は12月末日です。編集担当:松原 厚、蓮尾昌裕、西脇真二、小森雅晴、段 智子